約束２-(3)　ひろさき農業・産業おこしに取り組みます【商工業振興】

めざす姿

にぎわい創出による商業・サービス業の活性化と、地域資源を活かした工業の振興により、雇用拡大が図られます。

めざす姿の達成状況を示す指標（数値目標など）

	指標名	取得方法	単位	基準値	上段：年度別目標値 下段：年度別現状値 22	23	24	25	H24目標値に対する達成率	H25目標値に対する達成率
①	**施策の取り組みによる新規雇用（累計）　391人を目指します。**	業務取得	人	0	－	－	347	391	○	―
					100	281	388			
②	農商工連携等振興施策の展開による商品化数（累計）34件を目指します。	業務取得	件	0	－	－	24	34	○	○
					4	30	48			
③	技術開発等支援件数（累計）20件を目指します。	業務取得	件	0	－	－	16	20	○	―
					6	11	17			
④	起業化支援施策の展開による起業家創出数（累計）15人を目指します。	業務取得	人	0	2	6	10	15	○	―
					2	7	10			
⑤	中心商店街空き店舗率8.5%を目指します。	業務取得	%	12.8	11.7	10.7	9.6	8.5	○	―
					12.0	12.0	9.6			
⑥	誘致企業における従業員数5,560人を目指します。	業務取得	人	5,503	－	－	5,540	5,560	○	―
					5,503	5,750	5,580			

H24目標値に対する達成率　○:目標を達成済み　×:目標を達成できない　－:判断できない
H25目標値に対する達成率　○:目標を達成済み　－:目標を達成できない・判断できない

関連指標名	取得方法	単位	上段：数値取得時期　下段：取得数値				
従業者数	業務取得	人	H22	H23			
			85,226	79,578			
有効求人倍率（弘前公共職業安定所管内）年平均	業務取得	倍	H22	H23	H24		
			0.41	0.46	0.62		
第３次産業の総生産額	業務取得	億円	H20	H21			
			4811.94	4950.99			
市内製造業の製造品出荷額	業務取得	億円	H22				
			1633.05				
新規求人数（弘前公共職業安定所管内）	業務取得	人	H22	H23	H24		
			15,554	16,700	19,814		

約束全体の評価

めざす姿の達成状況を示す指標6項目について、平成24年度の目標値に対する達成率は、すべての項目において「目標を達成済み」となっています。

平成24年度における注目指標「①施策の取り組みによる新規雇用(累計)391人を目指します。」については、商工業分野69人、農林業分野15人、観光分野16人の合計100人の新規雇用を目標としていましたが、ジョブトレーニング事業で58人の雇用があったことが大きく、合計で107人となり、累計388人とH24年度目標値を達成しています。
また、関連指標の「有効求人倍率（弘前公共職業安定所管内）年平均」は、0.62倍（前年比+0.16ポイント）で、特に、平成24年9月には、過去5年で最高の0.85倍を記録するとともに、「新規求人数（弘前公共職業安定所管内）」は、19,814人（前年比＋3,114人）になるなど、近年では高い水準となっています。
「②農商工連携等振興施策の展開による商品化数（累計）34件を目指します。」は累計で48件とH25年度目標値を達成、「③技術開発等支援件数（累計）20件を目指します。」は17件でH24年度目標値を達成、「④起業化支援施策の展開による起業家創出数（累計）15人を目指します。」は10人でH24年度目標値を達成しており、仕事おこしや研究開発、起業化などの新たな取り組みに対する支援が奏功し、食品や伝統工芸を中心とする地場産業振興や企業の活性化と起業家育成が着実に図られていると考えます。
「⑤中心商店街空き店舗率8.5%を目指します。」は、空き店舗活用支援事業などによる空き店舗対策や、店舗シェアリング事業による起業家支援、「若者力」を活かした商店街パワーアップ支援事業などの賑わい創出に資する各種事業に取り組んだことに加え、土手町コミュニティパークなどの民間出店や、民間駐車場の無料化実験などが後押しをし、9.6%とH24年目標値を達成しています。

次に、個別施策の実施状況ですが、「進捗率」では12項目のうち11項目が、「工程表どおり実施済み」で、1項目が「工程表より遅れている」となっています。また、「達成率」では、12項目中10項目が「目標を達成済み」あるいは「順調に推移」となり、2項目が「遅れている」となっています。
地域経済は、先行きに不透明感がうかがわれ、依然として厳しい状況にあるものの、施策の実施状況や指標全体の傾向と注目指標の達成状況等を総合的に勘案すると、地域資源を活かした商品開発や創業などへの支援により、意欲的な取り組みは着実に増えてきているとともに、誘致企業の従業員数は目標値を達成するなど、めざす姿に向けて**着実に近づいている**と考えます。

今後とも、雇用の安定と確保の受け皿となる企業誘致や仕事おこし、また、市内中小事業者を下支えするための制度金融の充実や経営の改善が必要とされていますので、それらの施策に着実に取り組んでいきます。さらには、中心市街地の賑わい創出や地元産品のＰＲ強化、販路拡大への各種事業に取り組み、地域経済活性化のための幅広い施策に取り組んでいきます。

個別施策の実施状況

項目	事務事業数	進捗率	達成率
【地域資源の総動員による商品づくりとマーケティングの強化で、仕事おこしを図ります】			
○１　産学官金の連携による“ひろさき産業振興会議”の設置	1	A	A
○２　“仕事おこしプロジェクトチーム”（しごとづくり、新産業創造、雇用対策などを担当）の設置による仕事づくり施策（オンリーワン技術の活用など）の積極的展開	2	A	A
○３　“ＢＵＹひろさき”運動（地元産品活用の公共調達を促進）	1	C	C
●５　官民一体型での弘前情報チラシ作戦（通販や市役所郵便への添付）	1	A	B
☆11　農商工連携等による食産業の育成	1	A	A
☆12　ものづくり産業の振興	2	A	A
【弘前の強みを活かした企業立地、誘致を図ります】			
○４　首都圏等在住の弘前市ゆかりの人々をメンバーとする企業誘致応援隊の結成	1	A	A
●６　北東北の中核都市として、民間企業や公的団体の弘前市への着実な立地を推進	1	A	C
【起業や産業を支える人づくりに取り組みます】			
●７　起業実践トレーニング道場の実施と起業家交流プラットフォーム（セミナー・交流会の定期開催）構築	1	A	A
●８　地域資源の活用、地域課題の解決に取り組むコミュニティビジネスやソーシャルビジネスの育成	1	A	A
●９　店舗スペースのシェアリングによる起業サポート	1	A	A
☆10　空き店舗対策の推進	2	A	A

進捗率　A:工程表どおり実施済み　B:概ね工程表どおり　C:工程表より遅れている　－:未着手
達成率　A:目標を達成済み　B:順調に推移　C:遅れている　－:判断できない

上段：年度別概算所要額（単位：千円）／下段：年度別決算額（単位：千円）			
22年度	23年度	24年度	25年度
28,569	131,100	85,900	18,900
25,705	99,094	112,630	－

<table>
<tr><th>No.</th><th>項目</th><th>実施内容</th><th>自己評価</th><th colspan="5">平成24年度実施内容</th></tr>
<tr><td rowspan="6">2-(3)-1</td><td rowspan="6">産学官金の連携による”ひろさき産業振興会議”の設置</td><td rowspan="4">地域の企業、大学、金融機関及び関係機関等から、当市の産業振興や震災後の地域経営等に向けた意見等を伺う「ひろさき産業振興会議」を開催し、今後の施策展開のための参考とする。</td><td>進捗率</td><td colspan="5" rowspan="2">平成24年度は、2回の「ひろさき産業振興会議」を開催したことから、<u>「工程表どおり実施済み」</u>と評価した。
1回目：7月12日　テーマ「工芸品産業の成長・発展に向けて」
2回目：8月30日　テーマ「当市におけるものづくり企業の振興について」</td></tr>
<tr><td>A</td></tr>
<tr><td>達成率</td><td colspan="5" rowspan="2">会議の意見等を踏まえ、4事業を施策に反映することができたことから、<u>「目標を達成済み」</u>と評価した。</td></tr>
<tr><td>A</td></tr>
<tr><td colspan="2">目標</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td></tr>
<tr><td colspan="2">会議の意見や提案が施策等に反映された件数　2件/年</td><td>7件</td><td>3件</td><td>4件</td><td></td></tr>
<tr><td>事務事業名</td><td colspan="2">決算額</td><td>74</td><td>55</td><td>0</td><td></td></tr>
<tr><td>ひろさき産業振興会議開催事業</td><td>今後の課題</td><td colspan="5">テーマの設定によっては、具体的な施策の提案に結びつかず、おおまかな話になる傾向があり、段取りが重要となる。</td></tr>
</table>

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
2-(3)-2	“仕事おこしプロジェクトチーム”（しごとづくり、新産業創造、雇用対策などを担当）の設置による仕事づくり施策（オンリーワン技術の活用など）の積極的展開	進捗率 A	平成22年7月、商工労政課内に仕事おこし・雇用支援室を設置し、各種仕事おこし施策を展開しており、施策を構成する2事業について、それぞれ「工程表どおり実施済み」との評価になっていることから、施策全体としても**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	各種仕事おこし事業の実施により、新たなビジネスや雇用の創出が図られ、事業実施による雇用創出数が目標を上回っており、施策を構成する事業について「目標と達成済み」との評価になっていることから、施策全体として**「目標を達成済み」**と評価した。

	H22	H23	H24	H25
決算額	22,879	90,382	67,465	

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
「仕事おこし・雇用支援室」を設置し、しごとづくり、新産業創造、雇用対策などを積極的に実施する。 失業者等を雇用し、地域課題等に対応した民間提案型のビジネス・プランに対し、資金的支援をすることによって、新たな仕事づくりと雇用創出を図る。	(1)仕事おこし・雇用支援室設置	進捗率 A	平成22年7月、商工労政課内に仕事おこし・雇用支援室を設置し、各種仕事おこし施策を展開しており、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 －	組織の設置であり、目標・活動量指標を設定していない。

目標	H22	H23	H24	H25
－	－	－	－	

今後の課題	成長が期待できる分野に対して集中的に支援するなど、施策の方向性を検討する必要がある。

事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
(2)仕事おこし・雇用創出事業	進捗率 A	平成23年度採択分5件を継続支援したほか、「仕事おこし・雇用づくり補助金」と新たに制度を変更し、新規1件を支援。さらに「研究開発支援補助金」を5件、「農産加工ビジネス育成支援事業費補助金」では6件を支援し、新たな仕事おこし及び雇用の創出を図っており、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
	達成率 A	委託事業で13人の雇用、補助事業で3人の雇用が図られており、農産加工品ﾋﾞｼﾞﾈｽ補助事業では、1人の雇用が図られており、累計63人で**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
事業実施による雇用創出数（H22～H25）60人 45人（H23）、60人（H24）	15人	46人	63人	

今後の課題	補助制度を見直すとともに、「ひろさきビジネス支援センター」と連携した支援体制を構築する必要がある。

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容
2-(3)-3	“BUYひろさき”運動（地元産品活用の公共調達を促進）	地産地消を推進し、地場産業の振興を図るため、BUYひろさき推進本部を設置し、普及啓発活動を展開するとともに、地場産品（伝統工芸品）の購入・活用を支援する。	進捗率 C	平成24年度内のBUYひろさき推進本部設置を目指し、関係機関との調整を図ってきたが、本部体制や事業内容等について調整に時間を要した結果、年度内に設置することができなかったことから、**「工程表より遅れている」**と評価した。なお、「BUYひろさき推進本部」は平成25年7月17日に設立総会を開催し発足している。
			達成率 C	目標を伝統的工芸品等活用促進事業費補助金の「補助金交付事業所数　10件/年」と設定したが、平成24年度は5件の交付に留まり、平成23年度から3件減少していることから**「遅れている」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
補助金交付事業所数　10件/年	－	8件	5件	
事務事業名 / 決算額	900	1,873	1,343	

事務事業名	今後の課題
BUYひろさき運動推進事業	BUYひろさき運動の実施に当たっては、庁内各課との連携強化、また販売促進等の分野に精通したアドバイザーから助言等を得て進めることとし、伝統的工芸品等活用促進事業費補助金については、今年度の成果を検証しながら、より利用しやすいように制度の見直しを含めて検討する。

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容
2-(3)-4	首都圏等在住の弘前市ゆかりの人々をメンバーとする企業誘致応援隊の結成	弘前への企業・団体の立地を図るために、首都圏在住の弘前市ゆかりの方々を中心とした応援隊を結成する。 また、企業誘致のみならず、市内企業のビジネスチャンスに繋がる情報など、応援隊を通じて収集する。	進捗率 A	平成24年度はひろさき仕事おこし応援隊情報交換会の開催などにより、仕事おこし、産業の活性化へ繋がる情報の収集を図ったことから、**「工程表どおりに実施済み」**と評価した。
			達成率 A	情報交換会の開催、仕事おこしや産業の活性化に向けた情報収集の実施により、情報提供件数は目標を上回ったことから、**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
応援隊からの情報提供件数 20件/年	12件	16件	27件	
事務事業名 / 決算額	389	390	354	

事務事業名	今後の課題
ひろさき仕事おこし応援隊結成	当市の産業に寄与する企業の立地動向や新規進出などの情報収集を含め、効果的な情報収集、意見交換、連携策など事業の在り方を再構築する。

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
2-(3)-5	官民一体型での弘前情報チラシ作戦（通販や市役所郵便への添付）	進捗率 A	施策を構成する2事業について、それぞれ「工程表どおり実施済み」との評価になっていることから、施策全体としても**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 B	構成する2事業について「目標を達成済み」が1事業、「概ね順調に推移」が1事業となったため、全体としても**「概ね順調に推移」**と評価した。

	H22	H23	H24	H25
決算額	0	0	0	

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
（1）市の新たな財源を確保するとともに、民間事業者等の事業活動を推進し、地域経済の活性化と市民サービスの向上に寄与するため、広告を掲載した封筒を寄附（無償提供）してもらう。寄附された封筒は、市が公文書などの発送に使用する。	封筒寄附募集事業	進捗率 A	平成24年度は、6月1日から市民課窓口用封筒の使用を開始した。また、7月1日から汎用封筒の使用を開始した。したがって、**「工程表どおりに実施済み」**と評価した。
		達成率 A	平成24年度まで、累計264,000枚を達成したため**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
配付枚数　300,000枚(H25) 100,000枚（H23）、200,000枚（H24）	－	84,000枚	264,000枚	
決算額	0	0	0	

今後の課題	
	市で取り扱う封筒は、市外へも利用されていることから、弘前情報の発信につながると考えられるが、比較的、市内で利用されることが多いことから、広告が主に市内向けとなっている。市外への発送を考えると、市外向けに対応した広告や図柄などの工夫が必要である。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
（2）弘前シティプロモーションを推進するために、弘前の情報を集約したチラシを作成し、配布する。配布方法の仕組みとして、個人又は団体・企業を対象に「弘前PR応援サポーター制度」に登録してもらい、協働で様々な機会にチラシ配布を行う。	弘前情報チラシ配布事業	進捗率 A	当市シティプロモーションのキャッチコピー・ロゴマーク及び、まつりや名所等の観光情報を掲載したチラシを作成し、弘前PR応援サポーターを中心に県外の方々に配布していることから、**「工程表どおり実施済み」**となっている。
		達成率 B	目標指標は「配布枚数 5,000枚(H25)」としているが、平成24年度の配布枚数は2,500枚に留まった。目標指標は平成25年度における配布枚数を目標としており、目標値の50%は達成していることから、**「概ね順調に推移」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
配付枚数　5,000枚(H25)	－	－	2,500枚	
【参考】応援サポーター活動回数　50回	－	－	－	
決算額	0	0	0	

今後の課題	
	目標指標の「チラシ配布枚数」を増加させるためには、弘前PR応援サポーター登録者数の増加させるための取組みも併せて検討する必要がある。

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容
2-(3)-6	北東北の中核都市として、民間企業や公的団体の弘前市への着実な立地を推進	弘前への企業・団体の立地を図るために、ひろさき仕事おこし応援隊・大学・各種団体と連携して情報収集を行い、企業や団体を訪問、当市の各種優遇制度等をPRし誘致活動を推進する。	進捗率 A	首都圏開催の産業立地フェアでの立地環境のPRや、ひろさき仕事おこし応援隊から企業誘致に関わる情報を収集などの、誘致活動を展開しており、**「工程表どおりに実施済み」**と評価した。 なお、企業アンケート調査については、弘前オフィス・アルカディアへの立地促進を目的に実施していたが、全て埋まったため休止している。
			達成率 C	24年度は1件の誘致があったが、目標に達していないことから**「遅れている」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
誘致件数（H22～H25） 5件 1件（H22）、2件（H23）、3件（H24）	1件	1件	2件	
訪問企業・団体数 20件/年	21件	20件	24件	
事務事業名	決算額	879	645	835

事務事業名	今後の課題
企業・団体立地推進事業	雇用創出という観点から、従来からの工業系や情報系の企業誘致に加え、中心市街地の空き店舗の解消にも繋がるような幅広い業種・業態の事業所の進出を促進するための取り組みについても検討していく。また、広域連携による、雇用創出や企業誘致活動など、連携して取り組む具体策を検討する。

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容
2-(3)-7	起業実践トレーニング道場の実施と起業家交流プラットフォーム（セミナー・交流会の定期開催）構築	起業人材の育成と起業しやすい環境を整え、起業する市民を増やす。 ・創業・起業支援拠点の設置 ・専門家を招へいし、創業・起業に係る相談を受付 ・創業・起業に必要な知識を学ぶ講習会・セミナー等を開催 ・既存補助金等による資金的支援	進捗率 A	創業・起業相談窓口を暫定的に弘前商工会議所へ設置し、個別相談対応、起業セミナー・交流会を開催しており**「工程表どおり実施済み」**と評価した。 また、起業家の事業所賃料を補助する起業家支援育成補助金については、2件の実績があった。
			達成率 A	目標としている創業・起業支援拠点の設置、セミナー・交流会の開催回数2回、起業者2人をすべて達成していることから**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
創業・起業支援拠点の設置	－	－	設置	
セミナー、交流会の開催回数 2回/年	－	－	2回	
相談やセミナー等を受講した市民から、起業した人数 2人/年	－	－	3人	
事務事業名	決算額	584	570	3,781

事務事業名	今後の課題
創業・起業支援事業	「ひろさきビジネス支援センター」の機能を高め、より多くの人に有効活用して頂くための仕組みづくりを進める。

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容
2-(3)-8	地域資源の活用、地域課題の解決に取り組むコミュニティビジネス(※10)やソーシャルビジネス(※10)の育成	地域資源の活用、地域課題の解決に取り組むコミュニティビジネス(CB)やソーシャルビジネス(SB)を育成する。 ・普及啓発事業(CB・SBの創業機運を高めるセミナー等の開催) ・事業実施団体等支援事業(CB・SBに取り組む団体等に対し、コーディネートや補助金等の活用など、各種支援策を検討・実施)	進捗率 A	コミュニティビジネスサロンを開催し、CB・SBに対する普及啓発を図っていることから**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
			達成率 A	普及啓発事業としてコミュニティビジネスサロンを開催し、既存の起業家支援制度でCBを助成したことから**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
普及啓発事業開催回数 1回程度/年	1	1	1	
実施事業団体等支援実施(H23～)	－	1	1	
【参考】コミュニティビジネスが起業化した数　1件/年	―	―	0	
決算額	0	1,500	15	

事務事業名	今後の課題
コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス支援事業	コミュニティビジネスの枠組みにとらわれず、創業・起業支援の仕組みの中で支援する。

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容
2-(3)-9	店舗スペースのシェアリングによる起業サポート	起業家を育成するため、店舗スペースを細分化し、低家賃で貸し出す店舗の設置者を支援し、起業を目指す者が出店しやすい環境を整備する。 また、起業実践トレーニング道場の実施と起業家交流プラットフォームと連携した支援策を進める。	進捗率 A	平成23年度に引き続き、中土手町において起業家支援用店舗を設置し、16店が出店している状況にあることから**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
			達成率 A	シェアリング実施店舗数は1店のみであるが、シェアリング出店数は、目標を上回ったことから**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
シェアリング実施店舗数 2店	－	1	1	
シェアリング出店数 10店/年	－	14	16	
【参考】新規出店数累計　20店	―	14	19	
決算額	0	3,679	4,907	

事務事業名	今後の課題
店舗シェアリング支援事業	現在出店している16店の出店期限(最長3年)を迎えるため、独立開業に向けた支援、取り組みを進めていく必要がある。

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
☆ 2-(3)-10	空き店舗対策の推進	進捗率 A	施策を構成する2事業について、それぞれ「工程表どおり実施済み」との評価になっていることから、施策全体としても**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	構成する2事業について、いずれも「目標を達成済み」であることから、施策全体としても**「目標を達成済み」**と評価した。

	H22	H23	H24	H25
決算額	26,505	10,530	16,610	

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
(1)中心市街地の空き店舗を解消するために、新規出店に要する改装費の一部を支援する。	空き店舗活用支援事業	進捗率 A	事業募集をし、審査の上、事業を採択、支援したので、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	6件の事業採択を行い、いずれも新規出店に至ったことから**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
新規出店数　5店舗/年	6	5	6	
決算額	26,505	10,530	16,610	

今後の課題	空き店舗率が順調に減少しているので、今後も制度の充実及びPRに努め、特に空き店舗の多い地区の空き店舗解消に努めることが必要である。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
(2)中心市街地の空き店舗を解消するために、商店街振興組合などと連携しながら、中心市街地全域の空き店舗を把握し、広く発信しながら出店希望者とのマッチングを図る。	空き店舗データバンク事業	進捗率 A	平成22年10月から商店街振興組合等と連携して一定の空き店舗情報を収集し、平成23年2月から情報提供を行っていることから、**「工程表とおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	問合せ件数は目標値を下回ったものの、出店数は目標を達成していることから、空き店舗解消という趣旨に鑑み**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
問い合わせ件数 20件/年	－	5	6	
出店数 2店/年	－	1	3	
【参考】閲覧者数　1,200件/年	－	－	1,322	
決算額	0	0	0	

今後の課題	情報収集及び提供方法のさらなる充実化に努めていく。

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容
☆ 2-(3)-11	農商工連携等による食産業の育成	外部の専門家を活用しながら、商品開発等に係るアドバイスやコーディネート活動を実施し、農商工連携や6次産業化を促進する。 また、生産者と商工業者との交流や販路開拓の支援を行うほか、地元食材等を活かした新しい郷土グルメの開発、普及促進を図る。	進捗率 A	農商工連携や6次産業化に取り組む事業者に対して、アドバイスやコーディネートを行う専門家派遣事業を実施した。また、生産者と商工業者の交流を深めるバスツアーや展示商談会の共同出展、新しい郷土グルメを開発するグルメコンテストを実施したことから、**「工程表どおりに実施済み」**と評価した。
			達成率 A	相談件数、商品化件数、商談件数ともに当初の目標を上回ることができたことから**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
相談件数　100件/年	－	130	135	45
商品化件数　10件/年	－	26	18	
商談件数　　30件/年	－	118	130	
グルメコンテストの開催　1回/年	－	ー	1	
事務事業名	決算額	0	3,914	10,181
食産業育成事業				

今後の課題	販路開拓に強い専門家との連携が必要。

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
☆ 2-(3)-12	ものづくり産業の振興	進捗率 A	施策を構成する2事業について、それぞれ「工程表どおり実施済み」との評価になっていることから、施策全体としても**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	構成する2事業について、目標の設定がないものが1事業、「目標を達成済み」が1事業であるため、**「目標を達成済み」**と評価した。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
(1)東日本大震災の影響や円高の進展など、国内の製造業を取り巻く厳しい状況を踏まえ、国内外の動向や主に当市製造業の現状、将来の見通しやこれからのものづくり産業の発展に向けた調査を行い、その結果に基づき、ものづくり産業に対する積極的な振興策を展開する。 ・伝統産業の販路開拓・拡大を支援することにより、販売額の向上や雇用・人材育成(技術継承)へ繋げ、地域地場産業の活性化を図る。 ・縫製関連企業が多く集積する地域であることから、ものづくり産業の振興策のひとつとしてアパレル産業の産地化へ向けた取組みを推進する。	ものづくり産業振興事業	進捗率 A	国内の製造業を取り巻く厳しい状況を踏まえ、当市ものづくり産業振興の方向性を研究する「弘前のものづくりの未来を探る」調査事業を実施したことから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 －	平成24年度については調査事業の実施としており、目標は設定していない。

目標	H22	H23	H24	H25
－	－	－	－	
【参考】ものづくり産業振興事業数　3件/年	－	－	－	
決算額	0	0	500	

今後の課題	
	伝統産業については、津軽塗をはじめ、地域固有の技術を活かした工芸品は多くあるが、販売額の低迷が続いており、 事業者も厳しい経営環境のため、販路開拓への取組みが難しい状況にある。 アパレル産業において、高い技術力と優秀な人材を有する事業所は多いが、事業所数や製造出荷額が減少しているため、市内の事業所が一体となった取り組みによる販路拡大策を進めるとともにアパレル産業が集積している地域の認知度を高め、その強みを情報発信していく。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
(2)電子部品・デバイス、精密機械加工等を中心とした製造業の振興を図るため、外部の専門家を起用し、企業訪問による課題解決や企業間の連携促進、新製品開発に係る技術開発及び販路開拓を支援する。	ものづくりコーディネート事業	進捗率 A	地域のものづくり産業の振興を図るため、平成24年4月から、経営改善、新製品・新技術開発、新事業展開及び販路拡大等に取り組もうとする「ものづくり中小企業」を対象に、ものづくりコーディネーターによるアドバイス支援を展開していることから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	目標の「訪問件数」「試作・研究開発件数」「商談件数」ともに、目標を上回ったことから、**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
訪問件数　20件/年	－	－	51件	
試作・研究開発件数　3件/年	－	－	6件	
商談件数　10件/年	－	－	23件	
決算額	0	0	6,639	

今後の課題	
	企業への周知、PRをより強化し、ものづくりコーディネーターの積極的な活用を促進する必要がある。